目次

1 はじめに 2

2 最初の手順 3

2.1 機能一覧 3

2.2 システム要件 4

2.3 最初の操作 5

3 機能 6

3.1 ドライブの分析 6

3.2 クリーンアップのカテゴリ 7

3.3 クリーンアップと結果の確認 9

3.4 管理者権限 10

4 設定と更新 11

5 トラブルシューティング 12

6 よくある質問 14

7 サポートと O&O の関連情報 15

はじめに

O&O SystemCleaner は一時ファイルやキャッシュを分析し、選択したファイルを削除してディスクの空き容量を増やします。実際に解放された容量を最後に確認できます。

使い始める手順、主な機能、結果の読み方を説明します。サイドバーか次のリンクから目的の章を選んでください。

- 最初の操作：初回の作業を順に進めます。
- 機能一覧：目的に合う操作を探します。
- システム要件：権限と動作条件を確認します。
- トラブルシューティング：よくある問題への対処を確認します。
- よくある質問：主な質問に短く回答します。
- サポート：問い合わせ前に必要な情報を準備します。

本書のボタン名と設定項目名は日本語表示に合わせています。他の言語で使用する場合も操作の位置は同じです。

O&O SystemCleaner は無料で利用できるフリーウェアです。O&O Defrag 32 にも付属します。

機能一覧

一時ファイルやキャッシュを分析し、削除するものを選び、実際に解放された容量を確認できます。

機能	説明
カテゴリやドライブを指定して調べる	ドライブの分析
削除対象ごとの影響を確認する	クリーンアップのカテゴリ
削除を実行して結果を見る	クリーンアップと結果の確認
保護された場所を扱う	管理者権限

初回は最初の操作に沿って進みます。必要な権限と動作条件はシステム要件を参照してください。

各章は現行アプリの操作を説明しています。必要な Windows サービス、機器情報、権限が利用できないと、一部の機能を使えないことがあります。

システム要件

Windows と配布パッケージ

O&O Software または本ツールを含む O&O 製品が、お使いのコンピューター用に提供するパッケージを使用してください。現行版は Windows 10 と Windows 11 を対象とします。利用できる機能は OS のバージョン、サービス、権限、ハードウェアによって異なります。

アプリは現在のユーザー権限で起動します。保護された場所をクリーンアップするには管理者として再起動し、再度分析する必要があります。

起動する前に

ポータブル版は書き込み可能で場所の変わらないフォルダーに置いてください。コンピューターのプロセッサーに合う、O&O が提供したパッケージ全体を使用します。実行ファイルだけをコピーすると、必要なランタイムが不足する場合があります。

このオンラインヘルプはブラウザーで読めます。ヘルプを開いても Windows アプリはインストールされません。オンラインヘルプ、サポートページ、アプリの更新確認にはネットワーク接続が必要です。

最初の操作

分析、**クリーンアップ**、**完了**の 3 段階でディスクの空き容量を増やします。

1. **OOSystemCleaner.exe** を起動するか、お使いの O&O 製品のツールから SystemCleaner を開きます。
2. **分析**画面でカテゴリごとの説明を読み、調べたい項目を選びます。
3. ドライブ一覧で**すべてのドライブ**または個別のドライブを選び、**分析**をクリックします。この段階ではファイルを数えるだけで、削除はしません。
4. **クリーンアップ**画面でドライブごとのカードを確認します。ここでのチェックボックスは削除対象を選ぶものです。選択した容量とカテゴリの説明を確かめてください。
5. 準備ができたら**クリーンアップ**をクリックし、処理が完了するまで待ちます。
6. **完了**画面で削除したファイル数と解放された容量を確認します。残った項目を調べるには、新たに分析を実行します。

> **削除対象を確認してください**
>
> SystemCleaner で削除したファイルは元に戻せません。特に、ごみ箱を空にすると中のファイルは完全に削除されます。必要なファイルは選択前にごみ箱から戻してください。

注意が必要なカテゴリ、ごみ箱、管理者権限が必要な場所は、通常のユーザー権限では自動で削除対象になりません。クリーンアップのカテゴリと管理者権限を参照してください。

ドライブの分析

分析では、どの種類のファイルが各ドライブに存在し、どれだけの領域を使っているかを調べます。

カテゴリとドライブを選ぶ

カテゴリ一覧で**何を**調べるか、ドライブ一覧で**どこを**調べるかを指定します。選択したドライブに該当するカテゴリだけが表示されるため、データ用ドライブでは Windows のドライブより項目が少ないことがあります。

分析を選ぶと、現在のカテゴリとドライブがステータス欄に表示され、件数が更新されます。途中でキャンセルした際、既に候補が見つかっていれば部分的な結果が表示され、調査途中のカテゴリには**未完了**と表示されます。候補がなければ分析の画面に戻ります。

結果の読み方

結果はドライブ別のカードに容量の大きいカテゴリから表示されます。対象ファイルのあるカテゴリには件数と占有容量が示されます。これは分析時点の見積もりです。削除までにファイルが変わったり、使用中になったりすることがあります。

管理者権限がなく容量を測定できなかった場所には、ファイルが存在する可能性があります。容量を確認するには管理者として再度分析してください。クリーンアップ対象なしという結果は、選択した範囲で候補が見つからなかったことを示します。

分析対象を変更するには**戻る**を選びます。クリーンアップ画面のチェックボックスは削除対象を選ぶもので、前回の分析範囲は変更しません。

クリーンアップのカテゴリ

選択する前にカテゴリの説明を確認してください。キャッシュは再作成できますが、診断や復旧に使うファイルは後から必要になることがあります。

カテゴリ	クリーンアップの影響
一時ファイル	現在のユーザープロファイル内の一時データを削除します。使用中のファイルが残る場合があります。
システムの一時ファイル	Windows の一時フォルダーと、アクセス可能な他のユーザーの一時ファイルを含みます。管理者権限が必要な場合があります。
インターネットキャッシュ／ブラウザー キャッシュ	必要なウェブデータは再ダウンロードされます。使用中のファイルを減らすため、先にブラウザーを閉じてください。
Windows Updateのキャッシュ	ダウンロード済みの更新キャッシュを削除します。必要なものは Windows が再ダウンロードする場合があります。
配信の最適化ファイル	配信に使うキャッシュを削除します。以後の転送で作り直される場合があります。
メモリ ダンプ	システムやアプリの異常終了の診断に使えるダンプを削除します。
エラー報告／システムのエラー報告	Windows エラー報告に保存されたデータを削除します。
サムネイルとアイコン	サムネイルやアイコンのキャッシュを削除します。Windows が再作成します。
DirectX シェーダー キャッシュ	シェーダーのキャッシュを削除します。必要なときにアプリが再作成します。
セットアップのログ ファイル	インストールやメンテナンスのログを削除します。これらは障害調査に使える場合があります。
Windows 検索インデックス	インデックスのデータを削除します。再構築には時間がかかり、その間は検索に影響することがあります。
ごみ箱	選択したドライブのごみ箱を空にし、中身を完全に削除します。
以前の Windows インストール	Windows.old のデータを削除します。以前の Windows に戻すファイルや、旧環境に残した個人ファイルが失われる可能性があります。
Windows セットアップ一時ファイル	インストールの準備に使用した残存データを削除します。
Windows ESD インストール ファイル	回復や再インストールに必要になることがあるインストールデータを削除します。
古い ChkDsk ファイル	回収されたファイルの断片を削除します。データ復旧を試みている場合は、先に内容を確認してください。

警告アイコンと初期選択

検索インデックス、以前の Windows インストール、ESD インストールファイルには警告アイコンが付き、初期状態では削除対象に含まれません。ごみ箱も未選択で、選ぶと確認が表示されます。

「ダウンロード」フォルダー全体を整理する機能はありません。ダウンロードした文書を不要な一時ファイルとして扱うことはありません。

クリーンアップと結果の確認

削除するファイルを選ぶ

クリーンアップ画面でカテゴリを個別に選ぶか、ドライブのチェックボックスで表示中のカテゴリをまとめて選びます。一部だけが選択された場合はチェックボックスが中間状態になります。選択した合計容量を確認してから**クリーンアップ**を選ぶと削除が始まります。

ごみ箱を削除対象に選ぶ際には専用の確認があります。Windows の盾マークは管理者権限が必要な場所です。管理者権限を参照してください。

クリーンアップ中

ステータス欄に現在の操作が表示されます。完了までお待ちください。キャンセルしても削除済みのファイルは戻らず、最終画面にはそれまでの処理結果が表示されます。

使用中のファイルやアクセスを拒否されたファイルは削除できない場合があります。エクスプローラーがサムネイルやアイコンのキャッシュを使っている場合、いったんエクスプローラーを閉じ、削除を再試行してから再起動するか尋ねられます。エクスプローラーのウィンドウやデスクトップが一時中断してもよい場合にだけ同意してください。

集計結果の読み方

最後に表示されるのは実際に削除したファイル数と解放された容量です。削除できなかったファイルは別に集計されます。再試行する場合は、該当ファイルを使用しているアプリを閉じてから、もう一度分析します。

Windows.old 内の保護されたファイルは管理者権限でも残る場合があります。一部のクリーンアップが完了しても、それらが削除されたとは限りません。

管理者権限

SystemCleaner は現在の Windows ユーザーの権限で起動します。アクセス可能な場所の分析や、ご自身の一時ファイルの削除は管理者として起動し直さなくても行えます。

盾マークが表示される場合

Windows フォルダー、システム全体のデータ、他のユーザーのファイルなど、管理者権限が必要な場所には盾マークが付きます。通常のユーザー権限では、このような場所が自動で削除対象に選ばれることはありません。

対象を選ぶと、SystemCleaner を管理者として再起動するか尋ねられます。同意すると Windows の確認や管理者の資格情報の入力が求められます。再起動で現在の結果は失われるので、削除対象を決める前に**もう一度分析してください**。辞退した場合、その場所は未選択のままです。

アクセスできない場所

容量を測定できなかった場所にもファイルが存在する可能性があります。容量の測定に管理者権限が必要な場合は結果に表示されます。権限を昇格しても、使用中のファイルや Windows が保護するファイルまで必ず削除できるわけではありません。

既に管理者として動作している O&O 製品から起動した場合は、追加の昇格確認は不要なことがあります。

設定と更新

ステップ表示の歯車を選んで**設定**を開きます。

言語と外観

一般設定で言語と表示モードを選びます。ライトまたはダークを選ぶと画面の配色が変わり、システム設定を選ぶと Windows の設定に従います。表示言語の変更で再起動を求められたら、進行中の処理を終えてから画面の案内に従ってください。

他の O&O 製品の一部として実行している場合は、その製品の言語と外観に合わせる設定を利用できることがあります。

アプリケーションの更新

更新ページでは自動確認を設定でき、前回の確認日時と結果が表示されます。手動で確認するには**今すぐ確認**を選びます。新しいバージョンがあるとメインウィンドウのステータスバーに通知されます。通知を選ぶと、ダウンロードと適用の前に確認を求められます。

自動確認は起動時に 1 日 1 回まで行います。更新が見つかっただけでダウンロードが始まることはありません。更新処理ではダウンロードしたアプリを検証し、ツールを再起動して置き換えます。

更新前に作業を終えてください。パッケージを自動で置き換えられない場合はダウンロードページが開きます。Windows 回復環境では更新の確認は行われません。

ここで更新するのはアプリケーション自体です。ファイルの分析やクリーンアップは別の操作です。

トラブルシューティング

症状ごとに主な原因と対処方法を説明します。その他の質問はよくある質問を参照してください。

解放された容量が分析時の見積もりより少ない

原因： 分析で示されるのはその時点の見積もりです。後から変化したファイル、使用中や保護されたファイルは削除できないことがあります。最終結果には実際に削除できたファイルだけを計上します。

対処方法

1. インターネットキャッシュならブラウザーなど、対象のファイルを使っているアプリを閉じます。
2. もう一度**分析**を実行し、残っているものを確認します。
3. カテゴリを選び、**クリーンアップ**を再度実行します。クリーンアップと結果の確認を参照してください。

ファイルを削除できない

原因： ファイルが開かれている、アクセスを拒否された、または Windows が保護しています。サムネイルやアイコンのキャッシュはエクスプローラーが使用している場合があります。

対処方法

1. エクスプローラーを一時終了し、削除を再試行してから再起動するよう求められることがあります。エクスプローラーのウィンドウとデスクトップが中断してもよい場合のみ同意してください。
2. それ以外の場合は、ファイルを使用しているアプリを閉じ、再度分析してクリーンアップします。
3. 盾マークがある場所については、管理者として再起動します。管理者権限を参照してください。

カテゴリや場所の容量が表示されない

原因： 管理者権限がないと容量を測定できない場合があります。未測定は、ファイルがないという意味ではありません。

対処方法

1. その場所を選ぶと、管理者として再起動するか尋ねられます。
2. Windows の確認に応答します。
3. 再起動で以前の結果は失われるので、管理者権限で再度分析します。

管理者として再起動したら分析結果が消えた

原因： 再起動すると新しいセッションが開始され、それまでの分析結果は引き継がれません。

対処方法

1. 管理者権限で開いた画面で、改めて**分析**を選びます。
2. ドライブごとの結果を読み、削除する項目を選びます。

クリーンアップ後も Windows.old が残る

原因： 以前の Windows のファイルには、通常の管理者権限でも削除できないよう保護されたものがあります。SystemCleaner はこれらを削除できなかったファイルとして報告します。

対処方法

1. **完了**画面の集計を確認します。削除できなかったファイルは別に表示されます。
2. 一部の処理が完了していても、保護されたファイルまで削除されたことにはなりません。残りも削除する必要がある場合は、Windows 標準のクリーンアップ機能を使用してください。

削除したキャッシュが再び表示される

原因： Windows やアプリが通常の使用中にキャッシュを再作成します。先ほどのクリーンアップが失敗したという意味ではありません。

対処方法

1. 空き容量が再び必要になったときに分析します。
2. サムネイルなど、すぐに再作成されるキャッシュは、再構築で動作が遅くなる場合には通常のクリーンアップ対象から外してください。

ごみ箱や特定のカテゴリが選択されていない

原因： ごみ箱、検索インデックス、以前の Windows インストール、ESD インストールファイルは後で必要になる可能性があり、初期状態では選択されません。

対処方法

1. カテゴリに表示される説明を読みます。
2. ごみ箱に必要なファイルがある場合は、先に元の場所に戻します。
3. カテゴリを選びます。ごみ箱を選ぶと確認が表示されます。クリーンアップのカテゴリを参照してください。

よくある質問

分析時の見積もりより解放された容量が少ないのはなぜですか？

分析後にファイルが変化したり、使用中や保護された状態で削除できなかったりするためです。最終結果には実際に削除したファイルだけを計上します。関連アプリを閉じ、再分析して残った内容を確認してください。トラブルシューティングを参照してください。

クリーンアップを元に戻せますか？

SystemCleaner に取り消し機能はありません。カテゴリの説明を確認し、ごみ箱に必要なファイルがあれば先に戻してください。キャッシュは Windows が再作成できても、削除したクラッシュダンプやごみ箱内の個人ファイルはその方法では復元できません。

ごみ箱が最初から選択されていないのはなぜですか？

必要なファイルが残っている可能性があるためです。削除対象に選ぶと、内容を完全に削除することへの確認が表示されます。クリーンアップのカテゴリを参照してください。

管理者として再起動するよう求められたのはなぜですか？

保護された場所を選択したためです。再起動すると以前の分析結果は失われるので、管理者権限で再度分析してください。管理者権限を参照してください。

Windows.old が残るのはなぜですか？

Windows が保護するファイルには、通常の管理者権限でも削除できないものがあります。SystemCleaner はそれらを削除できなかったファイルとして報告します。

削除したキャッシュが再び作成されるのはなぜですか？

Windows やアプリは通常の動作中にキャッシュを作り直します。再び表示されたことは、先ほどのクリーンアップの失敗を意味しません。

サポートと O&O の関連情報

O&O SystemCleaner のヘルプ、アプリケーションの更新、その他の O&O 製品について案内します。

サポート

- **オンラインヘルプ： F1** キーを押すかヘルプボタンを選ぶと、現在の画面の説明が開きます。トラブルシューティングでは問題の原因と対処、よくある質問では主な質問への回答を確認できます。
- **O&O サポート：** O&O Software サポートページに詳しい案内と問い合わせフォームがあります。

問い合わせ前の準備

次の情報をお知らせください。

- O&O SystemCleaner と Windows のバージョン。
- 問題が起きるまでに行った操作。
- メッセージの正確な文面とエラーコード。
- 選択したカテゴリとドライブ、および**完了**に表示された集計結果。

画面の画像やレポートには、ファイルのパス、プロセス名などコンピューターに関する情報が含まれることがあります。共有前に内容を確認してください。

ライセンスと更新

O&O 製品一覧にダウンロード、製品説明、ライセンス情報があります。他の O&O 製品に付属していた場合は、問い合わせにその製品名とバージョンも記載してください。

アプリの更新確認と適用は設定の**更新**から行います。設定と更新を参照してください。

その他の O&O 製品

O&O Software はバックアップ、復旧、ストレージの最適化、Windows の管理にも対応する製品を提供しています。用途に合わせてお選びください。本書を開くだけで他の製品がインストールまたは有効化されることはありません。

製品	用途
O&O Syspectr	PC とサーバーのリモート監視・管理
O&O DiskImage	ドライブやシステム全体のバックアップと復元
O&O Defrag	PC とサーバーのストレージの最適化
O&O DiskRecovery	削除したファイルや、破損したファイルシステムからのデータ復旧
O&O ShutUp10	Windows のプライバシー設定の管理
O&O SafeErase	ファイルや空き領域に残るデータを復元できないように消去

全製品は oo-software.com/en/products をご覧ください。